報告事項　第８号
令和6年 第14回 臨時会
6.10.22　教育センター

立科宿泊教室「ゆずスマイル２０２４」
実施報告書（案）

豊島区立教育センター
適応指導教室

１　概要

適応指導教室では、在籍する児童・生徒を対象として１泊２日の宿泊教室「ゆずスマイル２０２４」を実施した。

本取組では、学校復帰や社会的自立に必要となる様々な知識や能力を、教育・心理・福祉の各専門部署のサポートを受けつつ無理なく体得できるよう、児童・生徒一人一人の状況に合わせた支援が展開できるよう企画・実施した。

今年度は、１２名の参加申し込みがあり１１名の児童・生徒が参加した。「人との交流を大切にする、積極的に物事に取り組む」をテーマに設定し、１日目の午後は「北八ヶ岳山頂の坪庭ハイキング」を行い、高原の空気や景色を堪能しながら身体を動かした。２日目は、高原野菜の栽培を行う農家の方の指導を受け、畑での収穫作業を行い、収穫した野菜を調理して昼食（弁当）時の副菜（サラダ）として味わった。

１泊２日という短い時間の中でも、身体を動かすこと、自然を感じること、環境と共に生きることなど、様々な体験を通して達成感を味わうことができた。さらに、ホテルでの宿泊では、夕食時にテーブルマナーを学びながら料理を味わったり、入浴や朝食の場面でも一般のお客様と同じ空間で行動することによって、マナーやルールを知ると同時に実践することの大切さを学んだ。

適応指導教室の子どもたちにとって、学校生活（教室での生活）では獲得できなかった様々な要素を、負荷を掛けずに短期間で成果が得られる本事業は、今後も継続して実施していきたいと考えている。

２　実施概要

（１）実施期間　　令和６年９月９日（月）～９月１０日（火）[１泊２日]
（２）実施場所　　長野県北佐久郡立科町および佐久市東立科町
（３）宿泊場所　　AMBIENT 蓼科ホテル
（４）参加費用　　５，０００円（宿泊費８０％・交通費は公費負担）
（５）参加者　　合計１１名（区立小５年；２名、６年；３名、２年；１名、３年；５名）
（６）引率者　　合計１０名　※派遣看護師１名を含む
（教育センター所長、教育相談 G1 名、SSW２名、
適応指導教室４名、巣鴨北中教員１名）

３　実施プログラム

【９月９日(月)】　8:00 教室集合･出発式…8:15 出発＝12:00 女神湖着、昼食、女神湖畔散策…14:00 北八ヶ岳山麓駅駐車場…ロープウェイ利用にて山頂…徒歩にて坪庭散策、ロープウェイにて北八ヶ岳

山麓駅駐車場　＝16:40 ホテル着＜開校式＞、入浴、夕食(テーブルマナー講習)、ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ、就寝 21:00

【９月 １０日(火)】　6:30 起床、朝食、出発準備＜閉校式＞９:００出発＝１０:００東立科着、農作業体験[ジャガイモなどを収穫、葉野菜の種まきも行う]…11:30 岸野農村環境改善センターにて、昼食（調理）準備、昼食　14:00 出発＝教育センター着・解散１７:１５

４　本行事の成果と課題

２学期が始まって間もなくの日程での準備であったことから、夏季休業中に郵送による家庭連絡を行いながら準備を進めた。事前指導は、可能な限り詳細な情報を掲載するようしおりを作成し行った。

（１）成果

①　参加者相互のコミュニケーションを大切にすることを目標にし、教室では交流の機会が無かった関係であっても積極的に交流しようとする姿勢が見られた。

②　期間中、様々な場面でいろいろな方々のお世話になり、感謝の気持ちをもって接したり、あいさつや言葉遣いに気をつけるなど、指導した内容が実践できていた。

③　１泊２日の日程（以前は３泊４日）ではあったが、取り組み内容を絞り込むことによって成果を得ることができた。

④　ゆずスマイルへの参加を契機に、これまでは柚子の木教室での会話が少なかった子どもが、積極的に会話を交わす場面が見られるようになった。

（２）今後の課題

①　前年度の取組状況を踏まえた計画を練ることで、早い段階から計画を進めることができたが、参加希望者をどれほど募ることが可能か指導体制との関係で難しい。

②　年間の指導計画の中で、１泊２日の宿泊を伴うものと、日帰りにて実施できるものとを、関連付けて実施できるよう、予算措置（配分）を含めて模索していきたい。

ゆずスマイル 2024 の一場面

↑１日目昼食調理

↓女神湖畔

↑北八ヶ岳山麓ロープウェイ

←坪庭ﾊｲｷﾝｸﾞ

サラダ作り→

↑作物の収穫

昼食→